

## (-)- $\alpha$ -ピネンシンターゼ

Cat. No. EXWM-5131

Lot. No. (See product label)

### はじめに

□明 *Salvia officinalis* (セージ) のシクラーゼIIは、ほぼ等しい割合で (-) - $\alpha$ -ピネン、(-) - $\beta$ -ピネン、(-) -カンフェンを生成し、他のモノテルペノイドの微量も含まれます。(3S) -リナリルニリン酸は、(3R) -リナリルニリン酸よりも酵素によって好まれて使用されることがあります。ゲラニルニリン酸の4-pro-S-水素は失われます。Mg<sup>2+</sup>を必要とし (Mn<sup>2+</sup>よりも好まれる)、*Abies grandis* (グランドファー) からの酵素は、ほぼ等しい割合で (-) - $\alpha$ -ピネンと (-) - $\beta$ -ピネンを生成します。しかし、クローンag11は35%の (-) -リモネン、24%の (-) - $\alpha$ -ピネン、20%の (-) - $\beta$ -フェランドレンを生成しました。Mn<sup>2+</sup>とK<sup>+</sup>を必要とし (Mg<sup>2+</sup>は効果がありません)。Pinus taeda (ロブローリー松) からのシンターゼIは、微量の (-) - $\beta$ -ピネンを伴って (-) - $\alpha$ -ピネンを生成し、Mn<sup>2+</sup>を必要とします (Mg<sup>2+</sup>よりも好まれる)。Picea sitchensis (シカスプルーース) からの酵素は、70%の (-) - $\alpha$ -ピネンと30%の (-) - $\beta$ -ピネンを形成します。Pseudotsuga menziesii (ダグラスファー) からの組換え PmeTPS1酵素は、ほぼ等しい割合の (-) - $\alpha$ -ピネンと (-) -カンフェンを生成し、他のモノテルペノイドの微量も含まれます。EC 4.2.3.120、(-) - $\beta$ -ピネンシンターゼ; EC 4.2.3.117、(-) -カンフェンシンターゼ; EC 4.2.3.16、(-) -リモネンシンターゼ; および EC 4.2.3.52、(-) - $\beta$ -フェランドレンシンターゼも参照してください。

別名 (-)- $\alpha$ -ピネン/(-)-カンフェン合成酵素; (-)- $\alpha$ -ピネンシクラーゼ

### 製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.3.119

反応 ゲラニルニリン酸 = (-)- $\alpha$ -ピネン + ニリン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。